

- 岐阜市では、人口減少や高齢化の進展を受け、人口減少下のまちづくりを支える交通体系の実現、持続可能な地域公共交通の構築、運転士不足に伴う既存路線の維持への対応、新たな生活様式に合わせた交通サービスの対応といった課題がある。
- これらの課題に対処するため、持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの形成、地域公共交通の利用促進、新技術の活用に取り組むことで、公共交通とまちづくりが連携した持続可能な地域公共交通の構築を目指している。

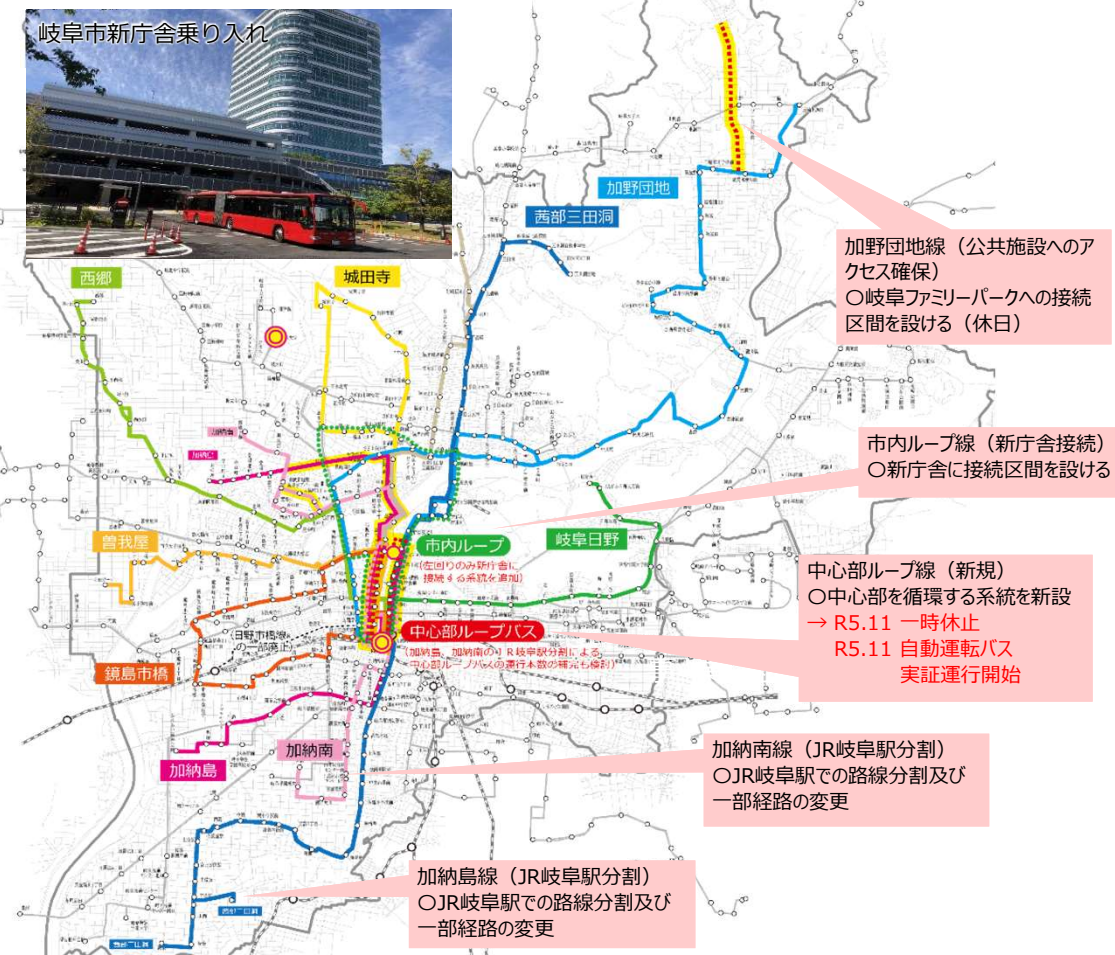
事業の内容

- ① **新庁舎開庁に伴うループ線の新設等**
 - ・JR 岐阜駅と岐阜市役所新庁舎を結ぶ、中心部を循環する系統（中心部ループ線）を新設
 - R5.11 一時休止。同月から同じ経路で自動運転バス実証運行開始。
 - ・JR 岐阜駅と岐阜メモリアルセンターを循環する系統（市内ループ線）の新庁舎への接続区間を設ける再編
- ② **JR岐阜駅での路線分割及び一部路線の変更**
JR岐阜駅のトランジットセンターとしての機能を活かすため、JR岐阜駅を跨いで運行する路線分割（加納島線、加納南線）の検討を進める。
- ③ **平日昼間時間帯定額乗車券の販売**
利用の少ない時間帯などに使用可能な期間限定の割引サービス等の導入の検討を進める。

事業の効果

- ・**中心市街地の回遊性の向上**
中心市街地の移動を快適にし、都市全体の魅力を高めることで、利用者数の維持・改善や収支改善を図る。
- ・**路線分割による定時性・速達性の向上**
JR岐阜駅で路線分割することにより定時性・速達性の向上を図る。
- ・**公共交通の利用者数の維持・改善**
新たな券種を販売することにより、通勤・通学などの朝夕ピーク以外である平日昼間の時間帯の利用促進や、中心市街地へのアクセス向上と活性化を促し、外出機会を創出する。

■ 本計画での対象路線と再編内容



- ・作成自治体 岐阜県岐阜市
- ・事業実施区域 岐阜市
- ・事業実施予定期間 R3年度～R7年度